

平成 2 1 年度病害虫発生予報第 1 0 号

平成 2 1 年 1 2 月 2 5 日
愛 知 県

1 露地野菜

キャベツ菌核病の発生はやや少ない状況ですが、本病は発病株から隣接株に感染します。また、発病株上にある菌核は次年度以降の伝染源となるので、発病株は抜き取り、畑の外へ持ち出し、適切に処分しましょう。

2 施設野菜

トマト葉かび病の発生は全体的には平年並ですが、一部多いほ場が見られます。草勢が低下すると発生が多くなりますので、肥培管理に注意しましょう。また、多湿条件下で多発しますので、換気を十分に行いましょう。なお、薬剤は葉裏にかかるように丁寧に散布しましょう。

ナスでは、今後すすかび病の発生が多くなる時期ですので、適期防除に心がけましょう。また、ミナミキイロアザミウマの発生量はやや多い状況が続いています。散布むらに注意し、適切に防除しましょう。

キュウリべと病の発生がやや多くなっています。換気を十分行い、余分なかん水を避けるなど湿度を上げないようにするとともに、肥料切れを起こさないようにし、早めに防除しましょう。

灰色かび病はイチゴでの発生が増えてきました。他の果菜類においても、曇雨天が続いて施設内が多湿になると発生が多くなりますので、積極的に換気や送風を行うとともに、伝染源となる発病果や発病葉は速やかに取り除いて処分しましょう。

イチゴのハダニ類の発生は現在のところ平年並ですが、ここ数年多い状況が続いています。暖房機の吹き出し口付近では部分的に多発することがあるので、注意して観察し、発生を確認したら早めに防除しましょう。天敵を導入している場合は、天敵への影響に注意して薬剤を選定しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
トマト (施設)	疫病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
	葉かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	全域	12月下旬の発生量はやや多い	+
	ハダニ類	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	べと病	やや多い	全域	12月下旬の発生量はやや多い	+
	うどんこ病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
イチゴ (施設)	灰色かび病	やや多い	全域	12月下旬の発生量はやや多い	+
	うどんこ病	多い	全域	12月下旬の発生量は多い	+
	ハダニ類	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±

・防除対策

〔ナス(施設)・ミナミキイロアザミウマ〕

詳しくは、12月8日発表の「病害虫発生予察注意報第5号」を参照してください。

〔キュウリ(施設)・べと病〕

アリエッティ水和剤、アミスター20フロアブル、リドミルMZ水和剤などで防除しましょう。

〔イチゴ(施設)・灰色かび病〕

同一系統薬剤の連用を避け、ボトキラー水和剤、カンタスドライフロアブル、フルピカフロアブル、ベルコートフロアブル、セイビアーフロアブル20などを防除体系に組み込み、ローテーション防除を心がけましょう。

〔イチゴ(施設)・うどんこ病〕

同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション防除を心がけましょう。なお、防除薬剤等については、10月16日発表の「病虫害発生予察注意報第3号」を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報(名古屋地方気象台12月25日発表)

予想される向こう1か月の天候

東海地方では、平年と同様に晴れの日が多く、岐阜県山間部では曇りや雪の日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並の確率50%、3~4週目は平年並または高い確率ともに40%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕 低い : 30% 平年並 : 30% 高い : 40%

〔降水量〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

〔日照時間〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

予想される天候の特徴

当地方の向こう1か月の天候は冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に晴れる日が多く、岐阜県山間部では曇りや雪の日が多い見込みです(12月26日~1月22日の晴れ日数の平年値は約19日)

「農薬使用者のみなさんへ」

飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。

農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。

農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも、洗いもれがないようにしましょう。

農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。

農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。

農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。

ポジティブリスト制度・農薬ドリフト対策については、

<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/minor.html> をご覧ください。

E-mail 配信のご案内

予報（病害虫の発生予察情報）、最新情報（病害虫の防除情報等）、注意報、その他情報（いもち情報等随時）等をメール（Word形式）でお届けします。（月2回程度）

ご希望の方は

件名に「E-mail 配信の申し込み」

本文に 氏名


住所（市町村までで結構です）、

職業（例 農薬メーカー、農業）

以上を記入し、病害虫防除グループまでメールでお申し込みください。

病害虫防除グループメールアドレス byogaichu@pref.aichi.lg.jp

（送信するメールの例）



あいち病害虫情報

E-mail 配信

2009.12.1

発生予察情報

- ・ [病害虫発生予報第9号（12月）](#)
※PDFファイルを使用しています。
- ・ [調査データ](#)
トラップ（フェロモン、粘着）及び予察灯への誘殺数のグラフです。
※ PDFファイルを使用しています。

[あいち病害虫情報ホームページのトップはこちら。](#)

（リンク先が表示されない場合は Ctrl キーをおしながらクリックしてリンク先を表示する）

（連絡先）愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除グループ
電話 0561-62-0085